

平成 25 年 11 月 15 日（金） 13:00-17:30（弥生講堂）

第 47 回 獣医学特論

「遺伝子改変技術と疾患モデル動物を用いた基礎医学研究」

13:00-13:15

オーバービュー「遺伝子改変動物が変えた基礎医学・生物学研究」

（東京大学大学院農学生命科学研究科獣医学専攻実験動物学研究室

准教授 角田 茂）

13:15-14:15

「筋萎縮性側索硬化症の原因遺伝子同定から疾患発症機構の解明に向けて」

（東海大学大学院医学研究科脳神経疾患研究センター／医学部基礎医学系分子生命科学

センター長・教授 秦野 伸二）

14:15-15:15

「C 型レクチン受容体：自然免疫と獲得免疫制御における役割」

（千葉大学真菌医学研究センター感染免疫分野

特任准教授 西城 忍）

（休憩）

15:30-16:30

「放射線腸障害における TLR3 の役割」

（東京大学医科学研究所国際粘膜ワクチン開発研究センター自然免疫制御分野

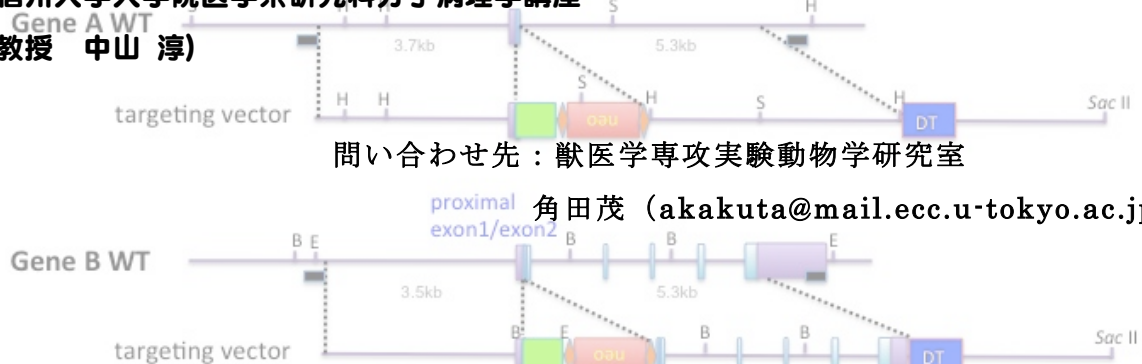
特任教授 植松 智）

16:30-17:30

「糖鎖研究から見てきた胃癌発生の制御機構」

（信州大学大学院医学系研究科分子病理学講座

教授 中山 淳）



問い合わせ先：獣医学専攻実験動物学研究室

角田茂（akakuta@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp）